

令和4年3月30日

令和3年度 学校関係者評価委員会議事録

学校法人 栗原学園

北見情報ビジネス専門学校

学校関係者評価委員会

学校法人栗原学園の学校関係者評価に関する規定に基づき、学校関係者評価委員会を実施しました。下記にその内容を公表いたします。今後も各評価委員からのご意見を真摯に受け止め、より良い教育を目指し学校教職員一同努力して参ります。

1. 開催日時 令和4年3月30日（水）18：00～
2. 場 所 北見情報ビジネス専門学校 4F 402教室
3. 出席者 規程の委員および学校職員
4. 次 第
 - (1) 開会
 - (2) 校長挨拶
 - (3) 協議事項
 - ①学校関係者評価委員会趣旨説明
 - ②学校関係者評価 教職員自己点検による報告
 - ③意見聴取
 - (4) 閉会

学校法人栗原学園 学校関係者評価委員会は令和3年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価委員会

選出区分	氏名	就任時の職名等
企業等委員	坂井 浩	株式会社坂井印刷 代表取締役社長
企業等委員	近藤 千鶴	株式会社ベストミント 代表取締役社長
企業等委員	由村 公平	株式会社日本旅行北海道 北見支店長
企業等委員	柴田 喜史	社会医療法人恵和会 アメニティー美幌 事務長代理
卒業生	野田 貴浩	株式会社タカノ商事 課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項 目	評 価
	北見情報ビジネス専門学校
基準Ⅰ 教育理念・目標等	<p>・ 2) 社会のニーズ等を踏まえた学園の構想を抱いているか。このことに関して、地元が必要とされる人材を育成することを目標に掲げたが、オンラインでの就職活動が主流となり遠方の企業においても容易に説明会等が行えるため都会の方が就職の割合が高くなった。地元では他業種においても会社 PR のために情報通信科の学生が求められる事例があるため検討していく。</p> <p>・ 委員会より 例年より評価が上がり、非常に良い傾向となっている (坂井)</p>
基準Ⅱ 学校運営	<p>・ 3) 情報システム等による業務の効率が図られているか。このことに関して、Google カレンダーなどのツールを利用することでデバイスの利用が得意ではない講師の方にもオンライン授業を問題なく行える環境を整えた。</p> <p>・ 4) 学園内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか。このことに関して、「slack」というチャットツールを利用して学校間の連絡をスムーズに行えるように検討している。現在は学科長間での情報共有を slack で行っている。</p> <p>・ 委員会より 特に意見無し</p>

<p>基準Ⅲ 教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1) 教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として修業年限等に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。このことに関して、午前オンライン授業、午後登校といった分散登校を行って授業時間を確保したが、座学の時間が増えて、実習や演習の授業が圧縮されてしまったため、オンラインであっても実技的なものを行える方法を模索する。 ・ 2) 学園行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか。このことに関して、行事の回数が昨年度より増やすことができ、行事を通して友人間の交流が増えたことで学校への忌避感が薄れた。 ・ 委員会より <p>コロナ禍で社会や学校に大きな影響があったが、3年目に入ってコロナ禍でもできることをやる必要がある。学校行事に関しては実施する方向で検討し、形を変えてでも学生生活の中で思い出を作れるようにすることが大切である。コロナ禍を生きていく中でどのような取り組みをするか、注目されているためしっかり検討してほしい。</p> <p>また、入学生も増えている分メンタルケアも重視してほしい。主に女性が精神的に参ってしまうことが増えており、学生の精神的なケアがこれから大変重要になる。(坂井)</p> <p>人と対面で接することも非常に大切で、オンラインではまじめな話が多くなりやすいが、対面では冗談も交えた会話で雰囲気をもたげることができる。(由村)</p>
---------------------	---

<p>基準Ⅳ 教育成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1) 就職率の向上は図られているか。このことに関して、就職した企業の数が増えたが、情報通信科が主に増えているため、他学科も増やしていきたい。 ・ 2) 退学率の低減は図られているか。このことに関して、コロナ禍によって行事の中止が増え、前年度は行事がなく、学校が勉強するところという認識に陥り退学者が増えていたが、今年度は形を変えてでも行事を開催することで改善することができた。また、学生のメンタルを担任が把握ができるように教員間で情報共有を密にしている。 ・ 3) 卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか。このことに関して、在校生の把握はできているが、卒業生に関しては来校が減り、把握している数も減った。 訓練生の卒業生に関しては Google クラウドを使用し、卒業後 6 か月間の把握が行えるように今年度から取り組んでいる。 ・ 委員会より 卒業後数年してから数年後離職したがあきらめず取り組んでいる人や、都会ではうまくなじめなかった人でも北見に戻って働きたいという意欲のある既卒の人がいれば受け入れたい。（由村）
<p>基準Ⅴ 学生支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1) 学生相談に関する体制は整備されているか。このことに関して、担任に相談するウェイトがかなり増えている。 以前は職員室にきて相談することがあったが、最近は遠慮している学生が増えている。 ・ 委員会より 特に意見無し

<p>基準VI 教育環境</p>	<p>・ 1) 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。このことに関して、ネットワーク環境に不具合があったため機材やプランを見直した。また、気温が高くなるためエアコンを設置し、快適な環境づくりを行った。エアコンの設置は自己評価後に決定したため、点数に反映されていない。</p> <p>・ 委員会より 特に意見無し</p>
<p>基準VII 学生募集</p>	<p>・ 1) 学生の募集は適切に行われているか。このことに関して、情報通信科の学生数が増加している。いろいろな取り組みを行っているが、出口に関して心配がある保護者の方が増えており、地方からの求人が多いことを周知していくことを継続して取り組む。</p> <p>・ 2) 学生募集活動について、教育成果は正確に伝えられているか。このことに関して、高校訪問などが急遽取りやめになることが多く、訪問できた場合でもヒアリングの時間が短い。ニーズがどのようになっているかを把握し、それに沿った形に変えていく。</p> <p>SNSを活用しているが、細かいところが伝わりきらないため今後様々な方法を模索していく。</p> <p>・ 委員会より オホーツク管内で子供が600人ほどしか生まれていない。そのため、オホーツク管内だけでなく、全国などの広い範囲から学生を募集する必要がある、東京や都会からでも来てもらえるように1人でも呼ぶことが非常に大切。</p> <p>そのためにはその地でしかない魅力を作ることが重要である。協力できることがあれば行いたい。（由村）</p>

	<p>学生の募集で、仕事をしていた人が失業保険をもらいながら入学してくる学生はいるのか。（柴田）</p> <p>→人数制限があるが、緊急再就職訓練長期人材育成コースという制度を利用し、今年度は総合事務科 2 名、情報通信科 4 名が入学し、2 年間在学して勉学に励む。（林）</p>
<p>基準Ⅷ 財務</p>	<p>・ 1) 中長期的に学校の財政基盤は安定していると言えるか。このことに関して、学生数が少なくなっており不安は生じている。動画制作のニーズが高まっているためアピールを行っていく。</p> <p>・ 委員会より 特に意見無し</p>
<p>基準Ⅸ 法令等の遵守</p>	<p>・ 2) 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか。このことに関して、身上書等学生の個人情報が書かれているものはすべてスキャンし、データ化して教員のみ確認できる形にしている。また、仕事で使うデータも個人の PC 内ではなくサーバー上に保存するようにしている。</p> <p>・ 委員会より 特に意見無し</p>
<p>基準Ⅹ 社会貢献</p>	<p>・ 1) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。このことに関して、北専各連からの依頼により、中学生が体験できるよう様々なものを行っている。中学生に人気の韓国語の講座も導入している。そのため、前年度と比べて総人数が 1.8 倍になった。周知も進み白滝や清里などの遠方からも依頼が来ている。また、動画を作成して北見の魅力を伝えるためのフィールドワークも行っている。次年度は撮影した動画を編集し、PR するところまで実施する。</p>

	<p>・委員会より</p> <p>北見の中学生は3年生になってから学校の見学に行くことが多く、不思議に感じている。学校では3年生だけでなく2年生に対しても周知してもらうことが重要である。（由村）</p>
--	---

3. 学校関係者評価 全体的な総括について

<p>自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見</p>	<p>・委員会より</p> <p>次年度の北見情報ビジネス専門学校の入学生が増えて非常に良かった。</p> <p>北見市内に私立の共学の高等学校もできたため、北見商科高等専修学校の入学者数が減らないか不安だったが、入学生が増えたことで栗原学園の存在意義が周辺に知られていることがわかる。</p> <p>北見信用金庫の（元）理事長が栗原学園は北見の宝とおっしゃっていた。</p> <p>オホーツク管内の子育てする家庭にとって大きな存在となっている。</p> <p>これから都会からも学生が来るようになればもっと魅力が上がるため頑張ってもらいたい。（坂井）</p>
-------------------------------	--